



スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド
愛称: ベスト・アルファ

お知らせ

当ファンドは
Morningstar Award “Fund of the Year 2019”
において
最優秀ファンド賞(オルタナティブ型 部門)
を受賞しました。



Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。オルタナティブ型 部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド121本の中から選考されました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド

愛称: ベスト・アルファ

マンスリーレポート
基準日 2021年9月30日

【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)	
	ファンド	TOPIX配当込
過去1ヵ月間	1.28	4.36
過去3ヵ月間	-0.48	5.32
過去6ヵ月間	2.68	4.97
過去1年間	10.88	27.52
過去3年間	21.53	19.87
設定来	189.78	163.61

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【ロング・ショート別構成】

	比率(%)	銘柄数
ロング	61.8	32
ショート	-30.1	40
ネット	31.7	-
グロス	91.9	-

※ 比率は対純資産総額
※ ネットはロングとショートとの差引、グロスはロングとショートとの合計です。

【市場別構成(ロング)】

市場	比率(%)
東証1部	44.3
東証2部	0.0
東証マザーズ	14.7
ジャスダック	2.8
その他市場	0.0

※比率は対純資産総額

【業種別構成(ロング)】

業種	比率(%)
サービス業	11.2
機械	10.4
情報・通信業	9.6
電気機器	7.1
医薬品	4.3
その他	19.2

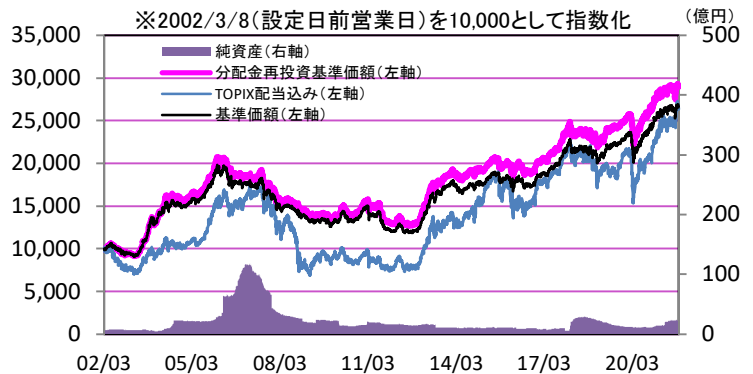
※比率は対純資産総額

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
26,591 円	26,512 円	22.75 億円

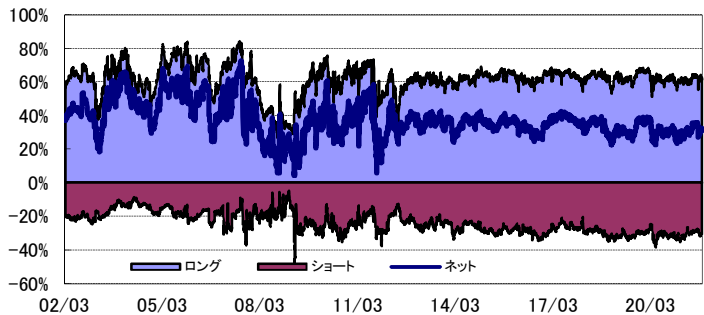
ハイ・ウォーター・マーク 26,830 円

※ 基準価額がハイ・ウォーター・マークを超えると実績報酬が発生します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※ 当該ハイ・ウォーター・マークは、当ファンドの毎計算期間末(毎年3月10日、休日の場合は翌営業日)および毎計算期間の最初の6ヵ月終了日に更新される場合があります。詳しくは委託会社にお問い合わせください。



※基準価額は信託報酬・実績報酬等控除後です。
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
※当ファンドはTOPIX(配当込み)をベンチマークとするものではありません。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ロング・ショート比率推移(設定来)】



※ 比率は対純資産総額、ネットはロングとショートとの差引

【組入有望証券上位10銘柄(ロング)】

銘柄	業種	比率(%)
1 DMG森精機	機械	4.0
2 UTグループ	サービス業	4.0
3 ギフト	小売業	3.9
4 SMC	機械	3.7
5 東急不動産ホールディングス	不動産業	3.7
6 村田製作所	電気機器	3.5
7 Fast Fitness Japan	サービス業	3.0
8 オロ	情報・通信業	3.0
9 SUMCO	金属製品	3.0
10 アンビスホールディングス	サービス業	2.8

※比率は対純資産総額

※ 上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

※ 「比率(%)」は、当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等については当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド
愛称:ベスト・アルファ

マンスリーレポート
基準日 2021年9月30日

ファンド・マネージャーのコメント

【市況状況】

2021年9月、日本株式市場の代表指数であるTOPIX（配当込み）は前月末比4.36%の上昇となりました。

当月の日本株式市場は、菅総裁の自民党総裁選不出馬表明を受け、閉塞感の強かった政局の変化を好感した買いが入り、上昇して始まりました。

月半ばは総裁選後の経済対策期待のほか、新型コロナウイルス新規感染者数の減少による景気回復期待が株価を押し上げ、14日に日経平均は30,670円と約31年ぶりの高値を更新しました。

月後半は、中国の大手不動産開発企業の恒大集団の信用不安から株式市場の警戒感が高まり、値動きの激しい展開となりました。その後月末にかけてはFOMC（米国連邦公開市場委員会）で早期の利上げが示唆されたことにより米国国債長期金利が上昇し、株式市場は下落に転じ月前半の上昇幅を縮小して取引を終えました。

【運用状況】

9月の当ファンドは、ギフト、UTグループなどが上昇し、パフォーマンスに対してプラスに貢献しました。

ギフトは、発表された2021年10月期第3四半期の経常利益が通期予想に対して高い進捗となったことで、行動制限された環境での同社の高い収益性を評価して、株価が大きく上昇しました。UTグループは、足元の業績は振るわないものの先行的な費用支出によって来期以降の成長への期待から株価が上昇しました。

一方、サーキュレーション、ペプチドリームなどが下落し、パフォーマンスに対してマイナスに影響しました。

サーキュレーションは、7月に東証マザーズに上場したプロフェッショナル人材の顧問契約を斡旋するプロシェアリングサービスのリーディング企業です。同社の株価は下落しましたが、働き手側では働き方の多様化、雇用主側では外部の知見や人材の活用が進んでおり、この潮流の恩恵が期待できる企業と考え投資を行っています。ペプチドリームは、放射性医薬品事業を富士フィルム(株)の連結子会社から買収することを発表したことで資金調達に懸念され、株価が下落しました。

投資ウェイトに関しては、ロング投資銘柄の株価上昇と、ショート投資銘柄の買戻しによってネットポジションは前月に比べ上昇しましたが、当ファンドが考える中心的な水準である30%程度を概ね維持しました。

【運用方針】

コロナ禍が世界的に収束傾向にあることは明るいニュースですが、中国経済の先行きに新たな不安材料が見られるなど、日本経済に対する好材料と悪材料が混ざり合った不安定な市場環境が続いています。市場環境に関わらず企業調査を通じて企業価値を見極め、ロングポジション、ショートポジションそれぞれの投資機会を捉え収益の獲得に努める方針です。

当月は新たにSBIホールディングス、セーフイーにロング投資を開始しています。

SBIホールディングスは、インターネットを基盤とした総合金融サービスグループ企業です。

「従来型の金融機関」に比べて顧客の年齢層が若く長期的な顧客金融資産の拡大の恩恵が期待できる顧客基盤を保有すること、証券、保険、住宅ローンなど幅広いサービスメニューをインターネット基盤で提供することで、低コストで運営できることが強みとなっています。

事業提携、共同事業の推進、資本参加などにより地域金融機関との関係強化を図りながら事業拡大を行うスキームは順調に推移しており、将来的には金融機関の業界地図を書き換えながら事業領域を拡大する算が高いと考えています。事業基盤の良さ、将来性の高さに比べ現在の株価評価はPER（株価収益率）で「従来型の金融機関」と同程度で評価されており、今後の評価の高まりが期待されます。

セーフイーは、監視カメラを運用するクラウド型映像プラットフォーム「Safie」を提供することで、SaaS型事業（Software as a Service、ソフトウェアやシステムを所有するのではなくクラウドサービスとして一定期間の利用権として顧客に料金を支払ってもらうサブスクリプションビジネスの一種）を展開する企業です。

「Safie」は、労働人口が減少する日本社会において、店舗での防犯カメラとしての利用や建設現場の監督のために遠隔地からの状況確認などに活用できるため、ニーズが高まっています。

当ファンドでは、①大手企業を中心した販売パートナーの多さとそれに伴うマーケットシェアの高さ、②同社が運営するクラウド型映像プラットフォーム「Safie」の潜在市場の大きさ、の2点に注目しています。

現時点の業績は、売上成長を重視しマーケティングコストを積極的に投入しているため営業損失を計上する見通しですが、中期的にはマーケティングコストを段階的に減らすことで、営業利益率30%程度までの改善が期待できると当ファンドでは考えており、長期的な成長率の高さと潜在市場の大きさから見て割安と判断し新規投資しました。

ショート投資では、宅配ケータリングサービスを展開する企業A社に追加投資しています。A社は、大規模増資で調達した資金の大半を販売促進費用に充てる積極的な事業推進を行っていますが、労働集約的で低付加価値サービスであることに加え、新規参入企業の増加、巣ごもり環境にも変化が見られるなど収益性の改善は将来的にも見込みづらいためと判断し、ショート投資を継続しています。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等については当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。